

## 「中国報」(中国レポート 第十五号)

### おすすめ書籍 (番外編)

～新型コロナ禍の出張不可能状態のため番外編：おすすめの中国関連書籍情報～

#### AI 監獄 ウイグル

ジェフリー・ケイン著、濱野大道訳 新潮社

メイセムという、著者がトルコのアンカラで出会った実在する仮名の女性が主人公の物語。2018年10月から2021年2月までのあいだに著者が実際にインタビューした「事実」にもとづいてストーリーは展開する。

新疆ウイグル自治区のウイグル人たちは、この暗黒郷（ディストピア）を“状況”と呼ぶという。読んでいて正直、気が重くなる内容だ。SF 小説であれば、空想の世界の出来事だが、これが今現在、新疆ウイグル自治区で起こっていることだと思うと、・・・・・・・・。

本書の中で出てくる一部の用語は、SF 映画や小説のものと同じだ。そのため、現実のものなのか空想の世界のものなのか混同してしまうが、これは今現在中国の新疆ウイグル自治区で起こっている「事実」だ。

たとえば、「スカイネット」「ニュースピーク」「パプティコン」などのワードは耳にしたことのある用語である。スカイネットは、映画「ターミネーター」に登場する架空の AI コンピューターで、ニュースピーク(本文中には「単純言語」として言及されている)は、ジョージ・オーウェルの小説「1984年」で描かれた架空の言語のことで、技術がどの様に機能しているかを一般人からは見えにくくするためのものだ。そしてパプティコン(一望監視装置)は、イギリスの哲学者ジェレミー・ベンサムが考案した、看守が犯罪者を効率的に監視出きるシステムを意味する。

さらにややこしいのはスカイネットを中国語に直訳した「天網」は、現実に中華人民共和国で利用されている AI を用いた監視カメラシステムの名称でもある。

本書では、現在の中国で起こっている新疆ウイグル自治区での人権侵害について書かれている。インタビューをもとにした、メイサムの身の周りで実際に起こっていることが時系列で描かれている。ただ、本書で述べられている新疆ウイグル自治区で行なわれている人権侵害が事実かどうかは、第三者機関が検証する事ができないため、その信憑性は、読者自身で判断するしかない。

中国で採用されている最先端の監視技術をどの様な企業が、いかに国家と結びついて提供しているのかについても書かれており、AI による監視技術先進国中国の技術力を知るという観点から読んで見るのも、興味深いのではないだろうか。

筆者は北京に駐在している 2011 年にウルムチへ行き、モスクを観光したことがある。案内してくれたウイグル人のガイドさんが、「昔、みんなが貧しかった頃は、漢族もウイグル族も仲良く暮らしていたのですが・・・」と話してくれた事を思い出す。2009 年 7 月のウイグル人差別抗議デモで多くの犠牲者が出たあと一時外国人旅行者の立ち入りが禁じられていたが、その後規制が緩められた時期に運良くウルムチに行くことができたものだ。業務がメインでの訪問だったので、土日の個人行動の観光時以外は、自由行動ができず、有名なバザールに行くことができなかった。同行した漢族の人たちに、「(観光名所の)バザールは危険な場所だからいかないほうがいい」と止められたからだ。当時すでに漢民族とウイグル族の間には対立の溝が生じ始めていたのかもしれないが、それでも今ほど”状況”はひどくなかった。

なお、手前味噌になるが、中国の AI 技術に関して興味のある方には、ARC リポート (RS-1054) 2021 年 8 月号 「[デジタル中国の行方](#)」第 4 セクションの次世代人工知能 (AI) 発展計画とデジタル中国を参照いただきたい。中国の AI 技術の理解の一助になるものと思う。

なお、左の表は中国が制定してきた国家の安全を維持するための法規の一覧だが、「国家安全法」が施行された 2015 年

中国の主な国家安全保障関連法規

施行年月	中国語法律名	日本語略称
2014年 11月	中华人民共和国反间谍法	反スパイ法
2015年 7月	中华人民共和国国家安全法	国家安全法
2016年 1月	中华人民共和国反恐怖主义法	反テロリズム法
2017年 1月	中华人民共和国境外非政府组织境内活动管理法	域外NGO域内活動管理法
2017年 6月	中华人民共和国国家情报法	国家情報法
2017年 6月	中华人民共和国网络安全法	サイバーセキュリティ法
2020年 6月	中華人民共和國香港特別行政區国家安全維持法	香港国家安全維持法

出所:令和3年防衛白書、中国政府のWebSiteなどをもとにARC作成

にスカイネットが完成している。

本書の「第 10 章 AI と監視装置の融合」に、国家安全法によって「政府は、様々な種類の監視を通して蓄積したデータを法執行のために利用できるようになった」と紹介されており、

この法律の施行は本書でも重要なターニングポイントとして描かれている。

本書は新疆ウイグル自治区で起こっていること、中国の AI 監視技術について理解を深めるための格好の書だと思う。

(2022/07 森山博之)

本リポートに関する問い合わせ先：<https://arc.asahi-kasei.co.jp/contact/>